

建築研究所ニュース



平成23年 8月17日

蒸暑地域を対象とした「建築環境技術研修」を8/23より開講します

地球温暖化対策が進められる現在、低炭素社会の構築は世界共通の課題となっています。全世界のうち、中国南部から東南アジア、南アジアにかけてのアジアの蒸暑地域（高温・多湿気候の地域）には、世界人口の1/3にあたる20億人以上の人々が暮らし、そのエネルギー需要の急速な増大とCO₂排出量の急激な増加が懸念されています。

独立行政法人建築研究所では、沖縄や南九州など国内の蒸暑地域における住宅・建築物の省エネルギー技術等の研究を実施してきていますが、これら成果を、アジアを始めとする蒸暑地域へ普及することを図るため、「建築環境技術研修」を、8月23日の開講式から約2ヶ月間、独立行政法人国際協力機構（JICA）と連携して、開講します。

蒸暑地域の国から今回、来日する研修員は、住宅・建築物の省エネルギー手法に関する講義、沖縄への研修旅行、現場見学等を通じて、建築研究所が開発した蒸暑地域向けの省エネルギー技術をはじめ、自国における気候条件等やその消費エネルギー量の動向などの実態にあわせた、省エネルギー技術を学び、帰国後にその技術を普及していくことが期待されます。

<参考1：開講式の日程>

建築環境技術研修 開講式

日時：平成23年8月23日（火）13:10～13:40

場所：建築研究所2階講堂

（つくば市立原1）

<参考2：研修の概要>

・技術研修期間 平成23年8月23日（火）～10月14日（金）

・場所 建築研究所ほか

・参加者 3ヶ国から3名（中国、サモア、ベトナム）

・主な講義内容

建築環境設計の基礎

アジア諸国等の住宅エネルギー消費量と温暖化防止対策

日本の住宅産業と生産システム、日本の行政施策

省エネルギーに資する要素技術

(冷房給湯、換気設備、高反射率塗料、パッシブソーラーなど)
自立循環型住宅設計指針 蒸暑地版

(内容及び開講式取材の問合せ先)

独立行政法人建築研究所
所 属 企画部国際研究協力参事
氏 名 犬 飼 瑞 郎
電 話 029-879-0631(直通)
E-mail bri@kenken.go.jp

☆ ご面倒ですが掲載の折には、その記録を留めるため、上記問い合わせ先へお知らせ下さい。